

職場はいつも美しく、快適に生産活動をしたいものです。今回は秋の全国労働衛生週間にちなんで(?)ぶつけられた方も、ぶつかった方も傷付かない待望の『衝撃吸収型バリア』をご紹介します。

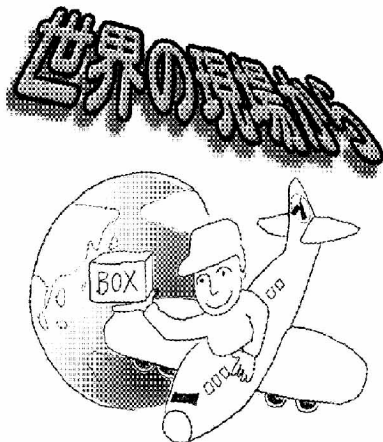
よくフォークリフトが設備や仕掛品、出荷前の完成品を誤って傷付けることがあるため、金属製のガードレールやポールを設置している工場があります。しかしながら傷付いたり、凹んだりしたままでは、車両も擦りキズだらけ。「年がら年中、修繕できない」と聞きます。

そこで、オランダの段ボール工場に良いモノがありましたのでご紹介します。色はオラ

ンダのチーズのような発色の良い黄色で、衝撃吸収能力がある樹脂製バリア「写真」。従来の様々な作業車両が頻繁に走り回る国際空港向けに、重要な設備や構造物への衝突リスクを減らすべく開発されたため、極めて高い衝撃吸収力と形状回復力を持っています。あ

来、様々な作業車両が頻繁に走り回る国際空港向けに、重要な設備や構造物への衝突リスクを減らすべく開発されたため、極めて高い衝撃吸収力と形状回復力を持っています。あたとえポールを壊してしまっても基礎への損傷が少ないので修復コストが安くつく。そして何よりも、明確な区

バリアで誰も傷付かない



第 3 8 回

分ができたためフォークリフト運転者の雑な操縦等が改善され、工場内の整理整頓活動も進んだ」という心理的効果も大きかったようです。

ところで四隅が傷付いた我が高級車…原因は車庫入れと狭い路地でのすれちがい。まずはこの新製品、役所やディスプレイストアに紹介すべきでしょうか？

質問・問合せは有功社シトー貿易局03-3949-9926へ。次回掲載予定は10月7日号。

